



# ジョン・F・ジャーム RI会長テーマ “Rotary Serving Humanity” — 人類に奉仕するロータリー —

国際ロータリー 第2660地区 ガバナー

**松本進也**

(大阪北RC)



本年度、第2660地区ガバナーを務めさせていただきます大阪北ロータリークラブの松本でございます。

当地区は日本34地区の中でも類まれなる活動実績と永きに亘る伝統を持つ地区です。パストガバナーの皆様が築き上げられましたこの由緒ある地区をより発展させるべく、誠心誠意邁進する覚悟でございますので、何卒お願い申し上げます。

去る1/17-23、サンディエゴ国際協議会に出席いたしました。本会議場であるメインホールに掲げられた看板は従来“Enter to learn, Go forth to serve”「入りて学び、出でて奉仕せよ」でありましたが、3年前より“JOIN LEADERS, EXCHANGE IDEAS, TAKE ACTION”となっております。より自発的そして、活発なロータリー活動が求められていると感じた次第であります。

## 【2016-17年度RI会長テーマ】

本年度のRI会長はアメリカ・テネシー州チャタヌーガRCのジョン・F・ジャーム氏です。

エンジニアであるジャーム氏は、空軍に4年間在籍した後、1965年、エンジニアリングのコンサルティング会社に入社。現在は、同社の取締役会長および最高経営責任者（CEO）を務めています。

2016-17年度RI会長テーマは“Rotary Serving Humanity” —人類に奉仕するロータリー— であります。

これは、「『人類への奉仕』という大きな目標に向け、リーダーシップを持ちうる会員を増やし、ポリオ撲滅をはじめ『世界でよいことをする』ため伝統を継承しよう。」という意味であります。

ロータリーの初期から「人類への奉仕」はロータリーの礎、主な存在理由であり、今、ロータリーは非常に大事なときであり、今後を決定づける歴史的な節目を迎えている。世界の行く末は、私たちの更なる奉仕にかかっており、世界でもっと「よいこと」の推進力となるためにポリオの撲滅を成し遂げ、ロータリーの成功をバネに飛躍する時である。と我々に力強い言葉を発せられました。

ロータリアン一人一人が世界でよいことをする。その積み重ねが大きな機会となり、人類への奉仕となる。とロータリーの存在理由とこれからの目標について、明確に述べておられます。

講義全般で強調されたことが3点あります。

第一に、2016-17年度はロータリー財団100周年の記念すべき年にあたることでした。

これは100年前の1917年、アトランタ国際大会にて、第6代RI会長であるアーチ・C・クランプ氏が、「世界中で善いことをする目的のために基金を設置することは極めて妥当なように思われます」と述べられ、この提案が「ロータリー基金」という名前でスタートしたことに由来します。ロータリー基金は、1928年のミネアポリス国際大会にて「ロータリー財団」として認証され、アーチ・C・クランプ氏は「ロータリー財団の父」と称えられました。

第二に、2018年のポリオ撲滅目標年を控え、ポリオ撲滅についても強い言及がありました。

最後に、会員増強であります。ロータリー精神を有し、リーダーシップを兼ね備えた人材を必要とする。とのことでありました。当方も全てを次年度具体的目標に組み入れ、運営の要として参ります。



# 地区ガバナー方針 “The Ideal of service” — ロータリーの根幹精神 —

国際ロータリー 第2660地区 ガバナー

## 松本進也

(大阪北RC)

### 【2016-17年度 第2660地区ガバナー方針】

このRI会長テーマを受け、第2660地区2016-17年度ガバナー方針を“The Ideal of service”-ロータリーの根幹精神-と決めました。当該方針はロータリーの目的(以前は綱領と呼称)の第三項にも記載されています。

1920年、東京に我が国最初のロータリークラブを設立した米山梅吉氏は、‘The Ideal of service’の日本語訳の際、「奉仕の理念」ではなく、敢えて「サービスの理念」とされました。

日本語の「奉仕」は自己犠牲の意味合いがあまりにも強く、“service”の本来の意味と合致しないからです。

日本のロータリークラブの祖である米山氏の意を汲み、当方も原語をガバナー方針に採用した次第です。

この「奉仕」と“service”の違いにつきまして、図にてご説明いたします。

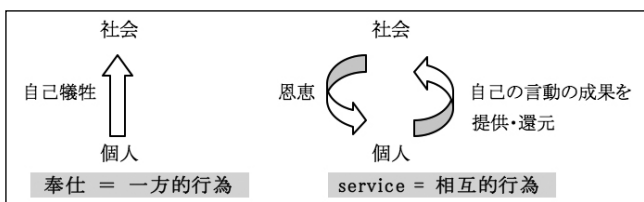
\*奉仕 = 一方的行為

矢印は個人から社会への一方向のみで、日本語では自己犠牲の意味合いが大きいです。

\*service = 相互的行為

矢印は個人と社会を循環しています。

個人から社会へは「自己の成果を提供・還元」し、結果、社会から個人へ「恩恵」が供給されます。



この図式をロータリー活動の際、常に当てはめて考えて頂きます様、周知をお願い申し上げます。

### 【2016-17年度 第2660地区具体的目標】

2016-17年度の第2660地区における具体的目標を次の5項目と決めました。

1. “The Ideal of service”の基本理念の周知と実践
2. ガバナー月信のペーパーレス化によるITの促進
3. ロータリー財団100周年、ポリオ撲滅
4. 戦略計画の推進
5. IM再編成

### 1. “The Ideal of service”の基本理念の周知と実践

この基本理念を第2660地区会員全員に周知し、その精神に基づいた地区活動・クラブ活動を推奨いたします。この実践的意味はロータリアンの活動が真に社会に役立つものであり、活動及び成果が継続性を有し、相互的に享受し合えるものである。ということでもあります。

### 2. ガバナー月信のペーパーレス化によるITの促進

当方年度より、紙媒体によるガバナー月信を停止し、第2660地区のホームページに掲載します。この移行には二つの利点があります。一つはIT化の促進、一つは地区活動費の充実はです。

2016年7月1日より、ガバナー月信は全て、ガバナー事務所から各クラブ事務局へPDF添付の形にてメール配信とします。またクラブ会員の皆様にMy Rotary登録を依頼して下さい。月信を読まれた後は、My Rotaryにログインして下さい。クラブ会長は、例会時の「会長の時間」の内、1日、ガバナー月信の内容を報告し、My Rotaryのトピックについても紹介して下さい。

### 3. ロータリー財団100周年、ポリオ撲滅

今年度はロータリー財団創立100周年の記念すべき年であり、この素晴らしい年にあたり、更に大きなserviceの実現として、100周年記念奉仕プロジェクトを進める予定であります。

また、RI会長は様々な奉仕活動の中で、特に重要であるのがポリオ撲滅であると評されています。

クラブでも祝賀行事としての財団活動の推進をお願いいたします。また六重点分野の全てが特別月間のテーマになりましたので例会での卓話は、地区出向者への依頼をお願いします。

### 4. ロータリー戦略計画の推進

今年度も引続き、戦略計画を強く推し進めます。戦略計画の三本柱は

- 1) クラブの活性化とサポート
- 2) 人道的奉仕の重点化と増加
- 3) 公共イメージと認知度の向上 であります。

2013年の規定審議会の議決に基づき、RIは戦略計画を推進しています。当地区も更なる推進を目指します。



#### 5. IM再編成

昨年12月5日の地区大会決議第8号にて「IMの在り方を決議する件」が採決され、2018-19年度を目処に、時代にあったIM再編成やガバナー補佐の選出方法を実行することとなりました。

当方年度は準備年度としての役割を果たし、次年度に継承できるように尽力いたします。

9月24日に開催されます地区決算決議会にて両案が決議予定です。

#### 【2016-17年度の年次寄付等年間目標】

当方年度の年次寄付等、年間目標を次のように決めました。

- |            |       |             |
|------------|-------|-------------|
| 1. 年次寄付    | 1名あたり | \$160       |
| 2. ポリオ撲滅   | 1名あたり | \$60 計\$220 |
| 3. ベネファクター | 各クラブ  | 1名          |
| 4. 米山奨学金   | 1名あたり | 30,000円     |
| 5. 会員増強    | 1クラブ  | 純増2名        |

まず、年次寄付を1名あたり\$160、ポリオ撲滅に1名あたり\$60の計\$220といたします。

これは、ロータリー財団100周年の記念すべき年にあたり、今年度RI会長の通達に「過去最高額の寄付の奨励」があり、また、国際協議会講演でもポリオ撲滅の実現を強調されたからです。

そして、ベネファクターを各クラブ1名としました。クラブでもこの目標を達成できるように、ご協力をお願いします。

米山奨学委員会では、今年度より「複数世話クラブ制度」を全国に先駆けて実施します。この画期的な制度の推進の原動力となるべく、米山奨学生の寄付目標を直近3年間同様、一人当たり30,000円といたしました。

最後に会員増強を1クラブ、純増2名といたしました。

第2660地区でも会員数の減少が危惧されております。今年度の会員増強はRIが求めている数値は地区全体で3%増であります。よって、今年度第2660地区目標は各クラブ純増2名といたしました。

増強方法の選択肢として、若年層でより経済的負担の掛からない衛星クラブの設立や女性会員の加入があります。

このような視点を変えた増強方法も候補に入れて頂きたく存じます。

#### 【2016年規定審議会】

2016年4月10-15日、米国イリノイ州シカゴにて、2016年規定審議会が開催されました。

当地区からは横山守雄規定審議会代表議員がご出席され、5月21日の規定審議会報告会にてご報告賜りました。

今回の決定事項は各クラブへより多くの裁量権と自治権を与えるドラスティックな内容でした。詳細につきましてはRI本部から後日送られてくる日本語訳を待ち、皆さんと共に考えて参りたいと考えます。3年に1度の規定審議会が本年開催され、ロータリーの本質にも影響を与えかねない決定事項がなされ、当方年度から動き出すことをご承知頂きたく思います。

#### 【我々の最終到達点】

また、今年度RI会長はご講演の中で、我々ロータリアンを「ロータリーチーム」と呼びました。

そこで当方は我々を「チーム2660」と呼ぶことといたしました。

クラブと地区、学友会との交流による「相互的行為」を皆様自身も常に念頭におかれて、第2660地区3650人が「チーム2660」として一丸となり、日本34地区を牽引する地区となることを願います。



国際ロータリー 第2660地区 ガバナー プロフィール

**松本進也** (まつもと しんや)

<b>生年月日</b>	1947年2月20日生		
<b>職業分類</b>	外食チェーン		
<b>職 業</b>	松本商事株式会社 松本興業株式会社 松本フード株式会社 代表取締役社長		
<b>所 在 地</b>	〒542-0075 大阪市中央区難波千日前9-11		
<b>経 歴</b>	1969年	慶應義塾大学商学部 卒業	
	1969年	株式会社三和銀行 入行 (現・株式会社三菱東京UFJ銀行)	
	1971年	松本商事株式会社 専務取締役	
		松本興業株式会社 同上	
	1983年	松本フード株式会社 設立 専務取締役	
	1996年	松本商事株式会社 代表取締役社長	
		松本興業株式会社 同上	
		松本フード株式会社 同上	現在に至る
<b>ロータリー歴</b>	大阪北RC入会 :	1987年10月14日	
	1993-94年度	幹事	
	1996-97年度	国際奉仕担当理事	
	1998-99年度	友好委員長 (理事)	
	2001-02年度	S.A.A.	
	2002-03年度	国際交流委員長 (理事)	
	2003-04年度	副会長	
	2008-09年度	会長	
	2011-12年度~12-13年度	創立60周年記念行事実行委員長	
<b>第2660地区</b>	1999-00年度	拡大委員会委員	
	2000-01年度	地区副代表幹事 拡大委員会委員	
	2001-02年度	拡大委員会委員	
	2003-04年度	地区幹事	
	2004-05年度	地区代表幹事	
<b>その他</b>	マルチプル・ポール・ハリス・フェロー ベネファクター メジャードナー ポール・ハリス・ソサエティ ロータリー米山記念奨学会 米山功労者メジャードナー 連続27年皆出席 (2014-15年度時点)		